平成 23 年 11 月

「マニフェストの進捗状況～２期目２年間の中間報告～」〔概要版〕

〔1〕１００の施策の実施状況

全 100 施策中、「実施済」又は「実施中」が 81 施策、「実施予定」が２施策、「検討中」が４施策、「見直し」が 13 施策となっている。このうち、２年間で取り組むこととしていた 85 施策では、「実施済」又は「実施中」が 69 施策、「実施予定」が２施策、「検討中」が１施策、「見直し」が 13 施策となっている。施策の「実施済」または「実施中」の割合は、全 100 施策及び２年間で取り組むこととしていた 85 施策のいずれにおいても 80%を上回っている。

マニフェスト項目	施策の実施状況											
	施策数		実施区分									
			実施済 実施中		実施予定		検討中		見直し			
									時期		内容	
1. 安心・安全社会の実現	**34**	**(28)**	**27**	**(22)**	**1**	**(1)**	**1**	**(0)**	**4**	**(4)**	**1**	**(1)**
[1]子育て支援の充実	5	(3)	5	(3)								
[2]健康・医療ネットワークの完備	4	(3)	3	(3)			1	(0)				
[3]安心できる福祉の実現	6	(5)	5	(4)					1	(1)		
[4]共生社会の推進	5	(5)	3	(3)	1	(1)					1	(1)
[5]防災社会の構築	4	(3)	4	(3)								
[6]防犯体制の強化	4	(4)	3	(3)					1	(1)		
[7]青少年教育の質の向上	4	(3)	2	(1)					2	(2)		
[8]循環型都市の水準の向上	2	(2)	2	(2)								
2. さらなる活力創出	**37**	**(32)**	**28**	**(24)**	**1**	**(1)**	**2**	**(1)**	**4**	**(4)**	**2**	**(2)**
[1]地域経済の活性化	5	(2)	5	(2)								
[2]雇用の維持・創出	4	(4)	4	(4)								
[3]発信型農業の支援	4	(4)	3	(3)					1	(1)		
[4]水産業の振興	4	(4)	2	(2)					1	(1)	1	(1)
[5]観光資源の最大限の活用	5	(4)	4	(3)							1	(1)
[6]中心市街地のにぎわい回復	5	(5)	3	(3)			1	(1)	1	(1)		
[7]地元大学・学生との連携強化	4	(4)	2	(2)	1	(1)			1	(1)		
[8]文化・スポーツの一層の振興	6	(5)	5	(5)			1	(0)				
3. 新たな行財政改革と住民参画	**29**	**(25)**	**26**	**(23)**	**0**	**(0)**	**1**	**(0)**	**2**	**(2)**	**0**	**(0)**
[1]協働のまちづくりの推進	4	(4)	4	(4)								
[2]多様な意見の市政への反映	4	(4)	3	(3)					1	(1)		
[3]新しい行財政改革の推進	3	(3)	3	(3)								
[4]増税なき歳入の増	4	(1)	4	(1)								
[5]市政窓口の改革	3	(3)	2	(2)					1	(1)		
[6]行政の危機管理体制の強化	2	(2)	2	(2)								
[7]合併効果の最大化	5	(5)	5	(5)								
[8]広域連携・自立の促進	4	(3)	3	(3)			1	(0)				
計	**100**	**(85)**	**81**	**(69)**	**2**	**(2)**	**4**	**(1)**	**10**	**(10)**	**3**	**(3)**
構 成 比	100.0% (100.0%)		81.0% (81.2%)		2.0% (2.4%)		4.0% (1.2%)		10.0% (11.8%)		3.0% (3.5%)	

※「施策の実施状況」の左側はマニフェストに掲げた全施策数、右側（ ）内はマニフェストで前半 2 年間に取り組むこととした施策数

〔2〕１１の数値目標の達成状況

11 の数値目標のうち、平成 23 年度までに市内全 47 小学校での作成を目指している「安全・安心マップ作成小学校数」については、目標どおり平成 23 年度に達成する予定である。

４年間での目標としている 10 の数値目標のうち、「病後児・病児保育施設数」、「放課後児童クラブ数」、「認知症サポーター数」、「自主防災組織組織化率」、「地域密着型教育実施校数」、「民間企業広告収入」の６の数値目標については、目標達成に向けて着実に増加している。

「コンテナ貨物取扱量」は、平成 22 年度まで着実に増加していたが、東日本大震災の影響により一時的に減少したものの、徐々に回復している。

一方で、「企業誘致数」や「ふるさと納税額」については、目標の半分に届いていない。また、「市税徴収率」は減少傾向にある。

数値目標（要約）	目標値	最新値
１．安心・安全社会の実現		
4 年以内に病後児・病児保育の施設を現在の各 1 ヶ所から各 3 ヶ所に増やす。	病後児保育施設 3 施設 病児保育施設 3 施設	病後児保育施設 2 施設 病児保育施設 2 施設 ※H23 年 11 月時点
4 年間で、放課後児童クラブ数を 32 から 50 まで増やす。	50 クラブ	43 クラブ
4 年以内に認知症サポーターの数を現在の 4 倍にするための支援を行う。	10,000 人	5,778 人
4 年間で自主防災組織の組織化率を 80%以上に引き上げる。	80.0%	63.8%
H23 年度までに市内全小学校における安全・安心マップづくりを進める。	47 校	47 校 ※H23 年度予定
4 年以内に、地域密着型教育の実施校を H21 年度の 11 校から全 72 小・中学校（現在：71 校）に拡大する。	71 校	40 校
２．さらなる活力創出		
4 年間でトップセールスによって、さらに 10 社以上の企業を誘致する。	10 社	4 社
4 年間で八戸港のコンテナ貨物取扱量を 5 万 TEU まで増やす。	50,000TEU	45,430TEU ※H22 年度実績
３．新たな行財政改革と住民参画		
4 年間でふるさと納税の額を現在の 5 倍にすることを目指す。	25,000 千円	7,934 千円
4 年間で民間企業広告の収入を現在の 3 倍にすることを目指す。	7,000 千円	4,157 千円 ※H22 年度実績
4 年間で市税徴収率を現在の 93.1%から 95%以上に引き上げることを目指す。	95.0%	92.3% ※H22 年度実績

※「最新値」は特に記載がない限り、H23 年 10 月末現在のデータ

〔3〕２４のマニフェスト項目ごとの市民満足度

「１．安心・安全社会の実現」における「健康・医療ネットワークの完備」、「防災社会の構築」及び「防犯体制の強化」、「２．さらなる活力創出」における「文化・スポーツの一層の振興」及び「観光資源の最大限の活用」、「３．新たな行財政改革と住民参画」における「協働のまちづくりの推進」及び「広域連携・自立の促進」に関する項目の満足度が比較的高くなっている。

一方で、「２．さらなる活力創出」における満足度は全体的に低くなっており、「１．安心・安全社会の実現」における「子育て支援の充実」や、「３．新たな行財政改革と住民参画」における「多様な意見の市政への反映」に関する項目の満足度も比較的低くなっている。

２年間の推移をみると、平成 21 年度と比較して全ての項目で満足度が向上しているが、満足度の伸び率でみると、「２．さらなる活力創出」の各項目において全体的に高くなっている。また、「１．安心・安全社会の実現」における「防犯体制の強化」や、「３．新たな行財政改革と住民参画」における「広域連携・自立の促進」に関する項目の満足度の伸び率も比較的高くなっている。

マニフェスト項目	市民満足度			
	H21	→	H23	伸び率
1. 安心・安全社会の実現				
[1]子育て支援の充実	0.93	→	1.10	18.3%
[2]健康・医療ネットワークの完備	1.63	→	1.82	11.7%
[3]安心できる福祉の実現	1.09	→	1.30	19.3%
[4]共生社会の推進	1.13	→	1.30	15.0%
[5]防災社会の構築	1.37	→	1.57	14.6%
[6]防犯体制の強化	1.23	→	1.57	27.6%
[7]青少年教育の質の向上	1.28	→	1.48	15.6%
[8]循環型都市の水準の向上	1.39	→	1.52	9.4%
2. さらなる活力創出				
[1]地域経済の活性化	0.90	→	1.11	23.3%
[2]雇用の維持・創出	0.54	→	0.66	22.2%
[3]発信型農業の支援	1.01	→	1.07	5.9%
[4]水産業の振興	1.10	→	1.30	18.2%
[5]観光資源を最大限の活用	1.29	→	1.47	14.0%
[6]中心市街地のにぎわい回復	0.84	→	1.12	33.3%
[7]地元大学・学生との連携強化	1.18	→	1.37	16.1%
[8]文化・スポーツの一層の振興	1.21	→	1.48	22.3%
3. 新たな行財政改革と住民参画				
[1]協働のまちづくりの推進	1.43	→	1.66	16.1%
[2]多様な意見の市政への反映	1.15	→	1.19	3.5%
[3]新しい行財政改革の推進	1.18	→	1.33	12.7%
[4]増税なき歳入の増	1.19	→	1.29	8.4%
[5]市政窓口の改革	1.09	→	1.22	11.9%
[6]行政の危機管理体制の強化	1.21	→	1.41	16.5%
[7]合併効果の最大化	1.21	→	1.41	16.5%
[8]広域連携・自立の促進	1.30	→	1.58	21.5%

※「伸び率」は、「（H23 満足度－H21 満足度）／H21 満足度」により算出した割合（%）

〔3つの柱ごとの施策の実施状況〕

1．安心・安全社会の実現

①実施している主な施策

- 小・中学生の入院分の医療費助成（H23 年 10 月～）
- ドクターカーの導入（H22 年 3 月）
- 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用の助成（H22 年 7 月～）
- 「八戸市虐待等の防止に関する条例」の制定（H23 年 3 月）
- 小・中学校の耐震化の推進
- 八戸地区連合防犯協会を中心とした防犯体制の充実
- 地域密着型教育の推進
- 路線ナンバリング設定やバスマップ配布、運賃上限制などによる路線バスの利便性の向上（H22 年度～）

②「見直し」の施策（※：見直しの理由）

（時期の見直し）

- 介護学生奨学金制度の創設　※県社会福祉協議会が実施中につき当面見送り
- 通報装置・監視カメラの設置　※H24 年度以降事業化
- 奨学金制度の拡充　※H22 年度⇒H23 年度実施済み
- 給付奨学金制度の創設　※H22 年度⇒H23 年度実施済み

（内容の見直し）

- 鷗盟大学の大学院の開設
  ※ニーズ調査の結果、大学院は設置せず、大学の授業内容の充実と卒業生の社会参加の促進を図る

2. さらなる活力創出

①実施している主な施策

- LNG 輸入基地の立地促進
- 「八戸市雇用創出戦略ビジョン」の策定（H23 年 3 月）
- 農業経営振興センターの設置（H23 年 4 月）
- 八戸地域プロジェクトの推進
- フィールドミュージアム八戸構想の推進
- 八戸ポータルミュージアム「はっち」の開館（H23 年 2 月）
- 八戸市都市研究検討会における調査研究プロジェクトの推進
- 南郷アートプロジェクト等、アートのまちづくりの推進

②「見直し」の施策（※：見直しの理由）

（時期の見直し）

- 「農産物ブランド戦略会議」の設置　※H22 年度⇒H24 年度設置予定
- ハサップ対応型魚市場の整備　※H22 年度⇒H24 年度供用開始予定
- 中心市街地への地元大学のサテライト機能設置に関する懇談会の設置
  ※速やかに⇒H23 年度実施予定
- 学生地域貢献表彰制度の創設　※H22 年度⇒H23 年度実施済み

（内容の見直し）

- 「はちのへ水産振興会議」の設置及び水産業グランドデザインの策定
  ※震災により、水産業グランドデザインに代わり、水産業復興ビジョンを策定することとする
- アジア諸国などからの来訪者増加やコンベンション誘致のための検討会の設置
  ※グローバル化に伴う最近の観光動向を踏まえ、検討会を設置せずに、関係機関等からの意見を参考にしながら、各種事業を展開する

3. 新たな行財政改革と住民参画

①実施している主な施策

- 町内会加入促進モデル事業の実施（H22 年度～）
- 「はちのへ青年倶楽部カダリスタ」、「トーキングカフェ」の開催（H22 年度～）
- 第 5 次八戸市行財政改革大綱の策定・推進（H21 年度～）
- 公共施設（子ども交流館、新井田インドアリンク）へのネーミングライツの導入（H22 年度～）
- 「八戸市窓口サービス向上指針」の策定・推進（H22 年度～）
- BCP（市役所業務継続計画：新型インフルエンザ編）の策定（H22 年度）
- 市道西母袋子線の整備
- 定住自立圏連携施策の推進（H21 年度～）

②「見直し」の施策（※：見直しの理由）

（時期の見直し）

- 意見書・請願についての市長見解・対応の市民への報告　※H22 年度⇒H23 年度実施済み
- メールマガジンの配信　H22 年度⇒H23 年度実施予定